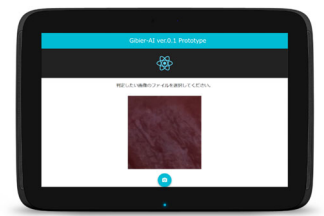


# 人工知能で肉質を自動判定！ ジビエーアイプロジェクト



いなばのジビエ推進協議会ジビエ倍増モデル推進委員会 × 鳥取大学工学研究科

## Gibier-AI <ジビエーアイ> プロジェクトとは？

ジビエとは「狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉」のことです。鳥取県は北海道に次いでジビエの出荷量が多い**ジビエ先進県**です。ジビエによく利用されるイノシシやシカは農作物に被害を与える害獣でもあり、ジビエ利用の推進は**地域の資源活用と問題解決の両方**につながります。

Gibier-AI（ジビエーアイ）は、鳥取県や地域のジビエ関連事業者らとの協力のもと、**人工知能等の最新テクノロジー**を応用することで安全安心なジビエの流通を実現し、**ジビエ利用の拡大を目指す**というプロジェクトです。

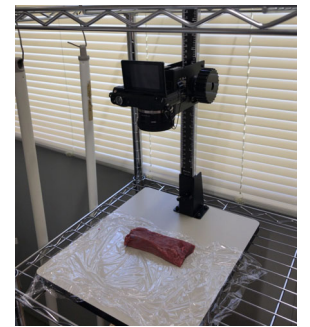
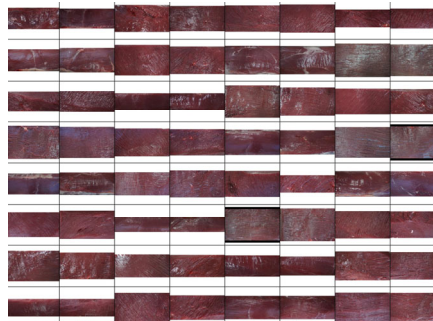


## 誰でも簡単に肉質判定を

ジビエーアイのゴールは、これまで数少ない専門家（ジビエ料理料理人など）しか判断することのできなかったジビエの肉質判定を、誰でも簡単にを行うことができるようにすることです。そのために、専門家による評価を付与した肉の画像データを、ディープラーニングという手法をつかって機械に学習させます。



## 教師データの取得

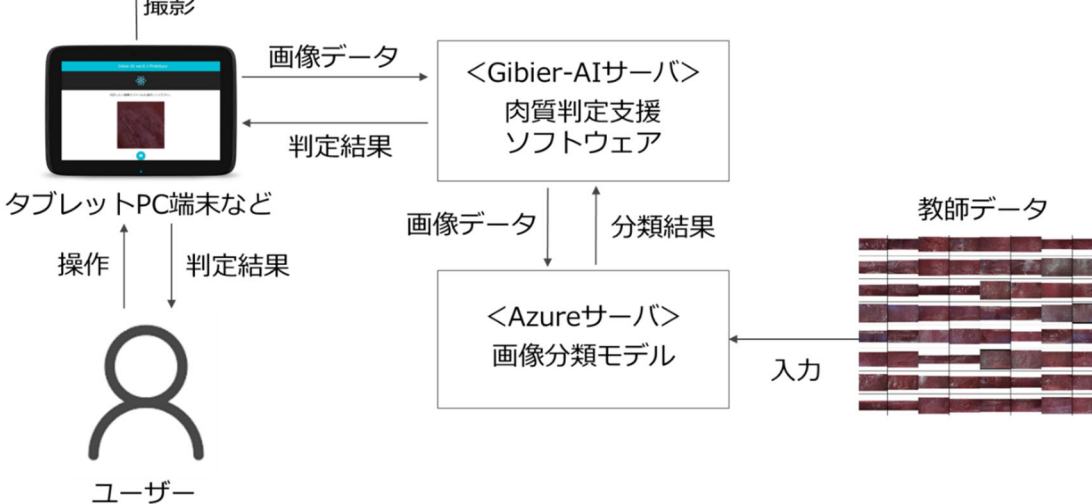
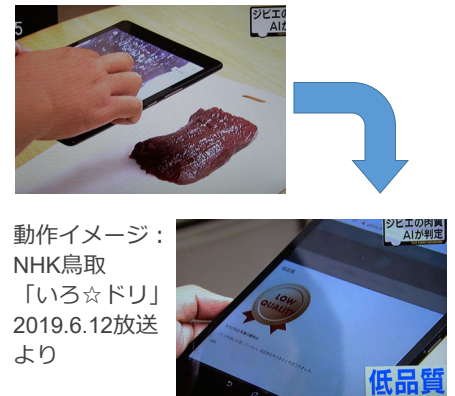


教師データを作成するための画像（一部） ちづDeer'sに設置した撮影台

AIによる肉質判定支援システムを構築するために大事なものは、大量の教師データ（肉の画像+評価結果）を集めることです。ジビエーアイプロジェクトでは、智頭町にあるジビエ解体処理施設「ちづDeer's」の協力を得て、鹿肉の断面画像を多数取得しました。また、ジビエ料理人など3名の専門家に評価を依頼し、それぞれの写真に対して肉質の評価を付与して頂きました。

## Givier-AI ver1.0 が完成！

- これまでの取り組みにより、肉質判定システムGibier-AIのVer1.0が完成しました。
- スマートフォンやタブレットPCで鹿肉の断面写真を撮影することで、手軽に肉質を判定することができます。
- 現在、約90%の精度で正しく判定することができます。



## 今後の課題・展望

- 精度を上げて、実用化を目指します。
  - 教師データを追加
  - 教師データを工夫
- シカだけでなく、イノシシなどにも応用することを検討しています。